

まちづくり対話懇談会における意見交換結果について

9月18日から20日まで、町内3会場において、第5次清里町総合計画の推進状況の説明後に、まちづくり対話懇談会を開催致しました。3日間で、延べ36名の参加を頂きました。懇談会における主なご意見と、ご意見に対する考え方をお知らせいたします。

	意見の概要	意見に対する考え方
各種会議開催	当該会議の出席者が少なすぎる。参加周知の方法が悪いのではないかと。会議の内容が全般的すぎて深く話ができない。分野（テーマ）を分けて話したい人を集めてやったほうがいい。多様な業種が清里でやっていけるよう対策が必要であり、連携する業種を絞った話し合いの場を設けてほしい。このような会合は、これからも何回かやってほしい。	開催案内については、今後の反省点としていきます。懇談会の参集についても、自治会や職場で集まる手法、業種や分野で集まる手法など、様々なかたちでの開催について検討していきたい。
自治会活動	自治会活動のなかで、若い人と高齢者の動向がつかめない。自治会費の集金や高齢者の安否確認も難しい。もう少し個人情報の活用ができないか。自治会役員も固定化している。新たな事業もでてこない。若い人が住むようにならないものか。自治会の役員のなり手がいない。	自治会の意向は理解するが、個人情報には法的な問題もあり難しい。若い人が住むためには、雇用の場の確保が重要と考えている。様々な施策を通じ、雇用の場の確保のために努力して行きたい。
	まちづくり住民大会はマンネリ化している。大会としての意義はいいが、集まるのは高齢者が多い。参加している人たちみんなが高齢化してきて、いつまでも同じ人が同じことを言っている。議論が平行線である。魅力がない。若い人が参入できる場をつくってほしい。	多くの人が、参加していただける住民大会の運営と内容について、主催者とともに相談して行きたい。歴史ある大会なので続けて行きたい。若い人にもどんどんそういう場に出てほしい。
地域担当職員制度	地域担当職員の顔が一部しか見えない。自治会長とのコンタクトをより密接にしてほしい。地域でなにが必要か。地域の現状を吸い上げる体制を整備してほしい。	今後とも情報のやり取りを密に行いたい。現在、地域担当職員制度の見直しを含めて、議論している。
職員研修	職員研修の実施の程度は？職員は電話で部署・名前を言わない。電話対応は町の代表として自覚してほしい。	職場内研修などで、接遇や電話応対等について、定期的に研修を行っている。十分に気を付けるように指導・研修を徹底する。
防災対策	テレビ等の天気予報に清里町が出ないのはなぜか。	気象庁のアメダス機器の設置がないため。気象庁にアメダス機器の設置を要請している。
	雨量が判らないけど、緑ダムが万が一決壊した場合の対応はどうなっている。	緑ダムには、雨量計等の気象観測機器があり、自動観測が行われている。また、管理事務所においては必要な情報が入り、緊急時に、関係市町に連絡が入るとともに、ダム下流域には、サイレンが鳴る。
空家対策	空家対策がいろいろな面で問題になっている。空家取り壊しの代執行はできないものなのか。自治会として、個人情報の問題から、空家の持主特定に苦慮している。	リフォーム事業で取り壊し助成の検討をしたい。法令等を整備して、代執行で取り壊すことはできるが、代金を回収できない恐れがある。個人情報の問題により対処法は難しい。
環境対策	ごみ処理の方法（分別等）が最近いい加減になっている。再度説明して徹底をすべき。野焼き等の焼却をきちんと制限してほしい。	改めて説明会などで周知したい。基本的には野焼きはできないので、引き続きPRしたい。
	公営住宅の駐車場以外での駐車が多く、緊急車両の通行にも支障が出る。苦情も多い。強制的に排除すべきと考えるが町としてはどうか？歩道を車で占有しているところがある。	改善される様、役場からも注意喚起していく。警察とも協力していく。

	意見の概要	意見に対する考え方
住宅対策	公住の建て替え計画はどうなっているのか。	長寿命化計画に沿って対応したい。
産業振興	一時的に商品券等でカンフル剤を利かせるのは判るが、仕事場を作って購買力を上げて商店街を維持させる。やはり仕事場づくりが将来への近道ではないか。商店街がどれだけやる気があるのか、気になるところである。従来の手法から抜け切れていないのではないか。	基本的な方策の方向としてはそうであるが、仕事場をつくり雇用と消費・購買力の向上を図ることは、簡単ではない。目先の緊急施策としての商品券の発行の必要性和合わせて、カンフル剤を打ち続けるにも限界はある。商業環境整備もしていかなければならない。商売の環境が変わってきている。
	農家の法人化は進んでいるのか。	法人化は増えているが、季節の作物のため年間雇用が難しい。6次産業化に期待している。
	パパスランドの農産物加工処理施設を保健所が営業許可できる試験研究施設に改修してほしい。	パパスランドの農産物加工処理施設は研修、実習施設として設置されているので難しい。他の場所で可能かどうか検討していきたい。
	道の駅での直売所は、交流人口を増やす手立てである、加工施設の整備も必要だと思う。加工品を置けば通年での運営がしやすいと思う。	地域の活性化の拠点が必要であると思っている。札弦地区では酪農のイメージ増加に期待している。道の駅施設においては、地域住民みんなで活用してほしい。加工施設の整備については、別途検討していきたい。
	グランドデザインの中で緑地区の部分が他から見ると少ない。緑のこれからがみえてこない。	グランドデザインは総合計画の可視化を図ったが、施策として緑地区の分は少ない。但し、グランドデザインにないからと言って、何もしない訳ではない。今後、緑のネーミングを活用した中で、総合計画の見直しの中に緑地区のあり方を入れていきたい。
後継者対策	まわりを見ると高齢の独身が多い。花嫁・花婿対策はどうなっているのか。	農家は花嫁対策協議会等があるが、他の業種についても晩婚問題があるので、様々な形で集う場などの確保を考えたい。
離町対策	町外転出者にアンケートをとって、その理由を尋ねてみては。そして、その理由の問題点を今後解決していったらどうか。	どうい方法がとれるか今後検討したい。
教育関係	教員の強化（特色）や奨学金の充実を図ってはどうか。小中高が連携することや、町の人がもっと学校を見ることで生徒にも緊張感が生まれ良い効果を生む。	奨学金制度はあるので、今後PRに努めたい。引き続き、高校存続のための支援を行っていきたい。
	清里高校維持のため、下宿・寮の整備も必要ではないか。	支援する体制整備、民宿等とのタイアップを含め必要性を検討したい。
	現在、少年団活動が充実してきている。今後、中高生に育って行った時に、いい先生がいればますます伸びていく。いい指導者をどう引っ張ってくるかの検討も。	教育委員会に伝える。積極的な対応を期待したい。
	緑地区での山村留学の体制は今後も維持できるのか。	今後も維持していただきたいと考えている。（継続できるよう対応したい。）